下期新商品をお披露目

キセキ関東 さなえの夏フェス'16

埼玉支社 畑作機器も豊富に取揃え

縄田社長

キセキ関東（縄田幸夫社長）埼玉支社（鏡順一支社長）は「ふれ愛感謝市さなえの夏フェス2016」を7月15日～17日、行田市のカインズモール行田で開催した。展示会は新製品、秋に向けた製品のお披露目の場でもあり、製品デモンストレーション、スタンプラリー福引などの催し物の他、地産地消コーナーなど盛りだくさんのメニューが用意されていた。

初日はあいにくの雨模様にもかかわらず、多くの来場者が詰め掛け、3日間を通じての参加者は、2800名を数え、「売上も目標を達成できそうだ」とのこと（鏡支社長）。

今回のメイン商品は、15年ぶりにフルモデルチェンジしたトラクタ「GEAS N30」。100台限定の関東地区スペシャルモデルのトラクタ「GEAS N30」。トラクタ「レスパRTS」シリーズは、18～25馬力の5台を展示。6月の新製品発表から、今回、初めてのお披露目ということもあり、多くの関心が集まっていた。同製品は、車格を大きくし、乗り心地に特にこだわったトラクタとして話題を呼んでおり、実際に、この展示会までに個人農家に持ち込んで実演を繰り返した結果、好評の声が多いという。

一方、関東100台限定発売のトラクタ「GEAS N30」は、従来の人気商品「GEAS NTA313」の必要機能を極力残してコストダウンを図ったものだ。同社の豊崎洋一営業本部長は「機能はほとんど変わらないが、コストダウンすることによって、買い求めやすくした。最近は、排ガス規制の影響から25馬力以上のトラクタの単価が上がっている。そのため、以前の価格に近い価格で提供しているのが好評の理由ではないかと思う」と述べていた。

その他にも、同展示会では多くの商品が取り揃えられ、来場者の関心を呼んでいた。なかでも、秋に向け展示されたコンバインは、同社が製造をはじめ、今年で50周年。これに合わせ、記念のポスターも目を引いた。さらに、コンバインをはじめ、同社の農機は、特許査定率が海外でも高い評価を受けており、この展示会でもキセキ愛好者に更なる安心感を与えていた。また、会場内では、会場を考える農家向けに提案を行うことにした」と語っていた。

この地域は、昔から畑作関連を手掛ける農家が多く、米価の不安定さから、この傾向はさらに進むものとみられる。このこともあって主催者側も、畑作関連商品を数多くそろえて対応したが、その狙いは的中。会場のあちこちで熱心な商談が続いた。近隣から来たある農家は、「うちでは米と野菜の両方をやっているが、これからは野菜の比重が多くなるものと思う。当然ながら栽培する野菜の種類も増えてくるが、それと共に機械もいろいろ揃える必要がある。その点、この展示会には、豊富な機械が揃っているばかりか、野菜作りのノウハウも教えてもらうことができ、大変助かる」と顔をほころばせていた。

なお、初日には縄田社長も激励に駆け付けた。

雨にもかかわらず熱心なキセキファンが詰めかけた

新商品の説明会に耳を傾ける入場者

鏡埼玉支社長

豊崎営業本部長

フクスイ 簡易冷房循環ファン

"霧霧舞""新換扇"を拡販

フクスイ＝竹内幹雄社長、滋賀県守山市欲賀町1060―1＝は、施設内環境改善・簡易冷房循環ファン「霧霧舞DXⅡ」「新換扇DXⅡ」の拡販に注力している。

共通した特長は、①温湿度のムラを解消、徒長を防止する②高温時・加湿時の空気の淀みを解消する③葉面境界層による病気の発生を防止④炭酸ガスの循環により、光合成を促進する⑤くん煙剤など使用時の循環撹拌に最適⑥暖房時の温度ムラを解消するため、暖房費を節減できる―など。

"霧霧舞Ⅱ"は、ミクロンノズルと"新換扇"がドッキングした簡易冷房システム。飽差制御・気化効率が大幅に向上するノズルS型で、ノズル個数は3個。使用圧力は1.5MpaでノズルS角度は円錐型60度、粒径は30～40μとなっている。

〝霧霧舞DXⅡ〟

"新換扇Ⅱ"は、モーター回転数、羽バランスの改善により低騒音の静風タイプ。また、羽バランスの改善により、到達距離は旧型と同等で、さらにモーター改良により省電力で経費が軽減できる。

風量は単相100Vタイプが90・100㎥／min、三相200Vが95・105㎥／min。質量は約5.8kgで、取付金具なしで使用できるものだ。

井関農機の新製品

―5―

木下社長

井関農機（木下榮一郎社長）は6月15日、情報発信基地『夢総研』（茨城県つくばみらい市）で「平成28年度下期新商品発表会」を開催。〝農政新時代を強みで切り拓く〟をコンセプトに19品目29型式を発表した。本紙では回を分け紹介しているが、今回は玉ねぎ、枝豆、にんじん、だいこん、キャベツ等の収穫機5品目と玉ねぎピッカー。価格は全て消費税込。

たまねぎ収穫機ＶＨＵ20―Ｇ

【たまねぎ収穫機】ＶＨＵ20―Ｇ。高性能で適期に収穫できるたまねぎ収穫機ＶＨＵ20に3次排出ガス自主規制適合エンジンを搭載。

《特長》①3次排出ガス自主規制適合エンジンはクリーンな排気で環境にも人にも優しい作り②たまねぎを楽にきれいに収穫＝▽機械収穫で省力・効率作業。掘取り、搬送、葉切、整列が1工程で▽たまねぎを傷付けずに収穫。やさしく引き抜き表面を傷付けない▽様々な貯蔵形態に対応できる葉切りカッター。葉切り高さを4～20㎝に調節可能▽整列放出。1うね4条植えを2条ずつ往復で収穫し掘り取ったたまねぎは1列に整列③使いやすい機能が満載＝▽軽トラックに載せて移動も楽々「ズームトレッド」。レバー操作で車輪幅が変わる▽かきこみベルト付きデバイダで、うね肩に倒れた葉も拾い上げ▽豊富なバリエーション。露地仕様だけでなく、マルチ仕様、低うね対応のL型も用意▽ハンドルの操作性向上。機体前方まで手が届き、旋回も楽に。

発売時期は平成28年6月。年間販売目標台数は50台。

《希望小売価格》ＶＨＵ20―Ｇ＝132万8400～153万3600円。

えだまめ収穫機ＶＨＥ10―Ｇ

【たまねぎピッカー】ＶＨＰ100Ｔ。作業の効率化に貢献するたまねぎピッカーＶＨＰ100Ｔに3次排出ガス自主規制適合エンジンを搭載。

《特長》①3次排出ガス自主規制適合エンジンはクリーンな排気で環境にも人にも優しい作り②スムーズな収穫で高能率作業＝▽独自のかき込み羽根でやさしく拾い上げ▽きれいに搬送。スリットコンベアで確実に搬送すると共に、付着している土を落とす▽コンテナで傷がつかないよう収容。空コンテナも42個搭積可能▽満杯の「コンテナは1つずつ又は2つずつ排出。これらは機械停止無しで連続搬出も可能。

発売時期は平成28年6月。年間目標台数は40台。

《希望小売価格》ＶＨＰ100Ｔ＝132万8400円。

にんじん収穫機ＶＨＣ1400

【えだまめ収穫機】ＶＨＥ10―Ｇ。高能率で適期に収穫できるえだまめ収穫機ＶＨＥ10―Ｇに3次排出ガス自主規制適合エンジンを搭載。

《特長》①3次排出ガス自主規制適合エンジンはクリーンな排気で環境にも人にも優しい作り②高能率作業＝▽重労働からの開放。引抜き、土落し、搬送、集束を1台1工程で手作業の約5倍の省力化▽異なる栽培体系にも対応。「ズームトレッド」採用で1うね1条植えや1うね2条植えなどの栽培に対応③充実した機能＝▽ハンドルのループ形状化。ハンドルのくぼみで機体前方まで手が届き、旋回も楽に▽振動式サブソイラ。根張りの良いえだまめや硬く締まったうねでも、簡単引抜き▽土に付着した土をきれいに落とす「振り子式土落し装置」▽うね高さ調節が手元で簡単。うねの高さが変わってもすぐに対応。

発売時期は平成28年6月。年間目標台数は10台。

《希望小売価格》ＶＨＥ10―Ｇ＝111万8880円。

にんじん収穫機ＶＨＣ2400

【にんじん収穫機】ＶＨＣ1400・2400。高能率で適期に移植できる、にんじん収穫機ＶＨＣ1400・2400に特定特殊自動車排出ガス2014年（4次）規制適合エンジンを搭載。ハイパワー・高トルクでありながらクリーンなディーゼルエンジン搭載。ハイパワー・高トルクでありながらクリーンな排気で環境にも人にも優しい作り②高能率作業＝▽新メーターパネル。作業やメンテナンスに必要な情報をわかりやすく表示▽個別キーによる盗難防止効果▽高い耐久性、簡単メンテナンス。故障も少なく手入れも簡単でメンテナンスコストが減少▽サンバイザ標準装備で快適に作業可能。

発売時期は▽ＶＨＣ1400＝平成28年7月、▽ＶＨＣ2400＝平成29年1月。年間販売目標台数は10台。

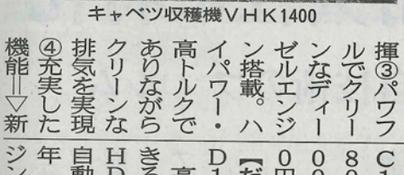
《希望小売価格》▽ＶＨＣ1400＝1144万8000円▽ＶＨＣ2400＝1787万4000円。

だいこん収穫機ＶＨＤ1400

【だいこん収穫機】ＶＨＤ1400。高能率で適期に移植できる、だいこん収穫機ＶＨＤ1400に特定特殊自動車排出ガス2014年（4次）規制適合エンジンを搭載。メーターパネル。作業やメンテナンスに必要な情報をわかりやすく表示▽個別キーによる盗難防止効果▽高い耐久性、簡単メンテナンス。故障も少なく手入れも簡単でメンテナンスコストが減少▽サンバイザ標準装備で快適に作業可能。

発売時期は▽ＶＨＤ1400＝平成28年6月。年間目標販売台数は10台。

《希望小売価格》ＶＨＤ1400＝1155万6000円。


キャベツ収穫機ＶＨＫ1400

【キャベツ収穫機】ＶＨＫ1400。高能率で適期に移植できるキャベツ収穫機ＶＨＫ1400に特定特殊自動車排出ガス2014年（4次）規制適合エンジン搭載。ハイパワー・高トルクでありながらクリーンなディーゼルエンジン搭載。ハイパワー・高トルクでありながらクリーンな排気を実現④充実した機能＝▽新メーターパネル。作業やメンテナンスに必要な情報をわかりやすく表示▽個別キーによる盗難防止効果▽機体角度調節装置。抜取搬送部の角度を調節しスムーズな作業▽サンバイザ標準装備で快適に作業可能。

発売時期は平成28年9月。年間目標販売台数は10台。

《希望小売価格》ＶＨＫ1400＝1155万6000円。

エム・エス・ケー農業機械 十勝で展示会開催

新型トラクタ展示

エム・エス・ケー農業機械＝杉野俊樹社長、北海道恵庭市戸磯193―8＝の十勝支社が7月8日、北海道音更町のアグリアリーナで展示会を開催した。雨の影響で牧草の刈取りが遅れた為、農家に影響があったものの、4ヤー2016』でベスト100名近くの来場数を記録した。

賑わいを見せた会場

クーン社のブロードキャスター「AXIS」やスプレーヤー「METRIS」といった新商品と共に展示したのが新型トラクタ「MF5700SLシリーズ」だ。現在販売している3気筒モデルであるMF5600シリーズトラクタの特長である「スティープノーズボンネット仕様なども、ユーザーニーズに応えた特性を備えている。コンパクトながら110馬力以上の力強さを兼ね備えた新型トラクタ。理システムを1つのパッケージにまとめたオールインワンコンセプトにより燃料タンク容量や視認性への悪影響を排除②視認性の高いスティープノーズボンネット仕様など、ユーザーニーズに応えた特性を備えている。コンパクトながら110馬力以上の力強さを兼ね備えた新型トラクタ。

エム・エス・ケー新体制

エム・エス・ケー農業機械は、6月27日開催の定時株主総会で役員の改選を行った。

【取締役・監査役】▽代表取締役社長＝杉野俊樹（重任）▽常務取締役＝西野秀樹（重任）▽同＝伊藤弘（重任）▽取締役＝仲村洋一▽同＝窪田哲也（新任）▽同＝大西博文（新任）▽同＝東馬圭一（三菱商事）▽同＝石川善太（同）▽監査役＝相磯哲夫▽同＝田中浩一（同）。

【執行役員】▽社長執行役員（代表取締役社長兼務）＝杉野俊樹▽常務執行役員（常務取締役兼務）＝西野秀樹▽同（同）＝伊藤弘▽執行役員（取締役兼務）＝仲村洋一▽同（同）窪田哲也（新任）▽同（同）＝大西博文▽同＝田端和男▽同＝高橋満▽同＝境利昌（新任）▽同＝喜友名朝仁（新任）。

＝敬称略＝

なお、取締役の鈴木文男氏は退任した。

土谷特殊 アイスシェルター

農作物の貯蔵・熟成に

桜の花を指さす土谷社長

チーズや食肉の熟成にも効果的

「この桜の枝は春に剪定したものをアイスシェルター（貯氷庫）で貯蔵したもの」と花を指さす土谷紀明社長。7月にも関わらず至る所から芽が出ていて数日後には見頃を迎えそうだ。「アイスシェルターは単なる貯蔵施設ではなく、熟成施設としても活用できる。上手く活用すれば農産物に何倍も付加価値をつけて販売することができる」と笑って話した。

土谷特殊農機具製作所＝北海道帯広市西21条北1―3―2＝が普及に力を入れているアイスシェルターは、寒冷地の無限の資源である冬季の冷気によりできる氷を利用するもの。電気冷蔵とは異なり、代替フロンも電気も使わない環境負荷低減型の再生可能エネルギー活用システムだ。積算寒度が200度以上であればOKで、積算寒度が満たさなくとも電気などと併用すれば利用可能だ。

単に出荷調整としての機能だけでなく、貯蔵物の熟成を促し付加価値のある商品開発にも寄与。同社の実証では、シェルター内で玄米を5度以下で冷蔵貯蔵し、精米後も出荷まで15度以下で低温貯蔵したところ、真夏でも貯蔵中の品質劣化がみられなかったという。

「〝北海道ならではの自然エネルギーを使って貯蔵・熟成した〟というストーリーを持つだけで自前の農作物にプレミアムが付けられる」と土谷社長。現在、トレーラーに積み込み、直接消費地に輸送が可能なタイプのテストを準備するなど、次のステップへ動き出している。

永田製作所 手動式の薬剤散布機

立木野菜・花卉用の四輪車

永田製作所＝田中寿和社長、大阪市西淀川区千舟1―5―41＝は、立木野菜・花卉用の薬剤散布機「手動式スプレーカート四輪タイプ」を開発、8月中旬から発売の予定。

手動式スプレーカート

本機は、パイプ左右にイヤを採用。本体はスチール製により低重心、高安定感のある大型四輪タイヤにより、移動と走行が楽で、操作性がアップ。

【主な特長】①低重心で右にバルブを取り付け、片側だけの散布も可能にした⑤作業者に合わせて、ハンドルの高さが調整できる―など。

【主な仕様】▽寸法＝タイヤ幅410×全長810～990×全高1745各㎜▽質量＝16・4kg▽ハンドル高＝800～980各㎜▽吐出量＝7.7ℓ／分（2.0Mpa時）▽取付けネジ＝G1／4。

◇

問合せ電話06―6473―0835。

施設園芸・植物工場展特集

施設園芸・植物工場展が過去最大規模で

主な出展社名

アキレス㈱　N―17
収量アップを支援する機能性施設園芸資材を一堂に展示。生育に最適な環境を保ち、地球環境にも配慮した製品群で生産者をサポート。

有光工業㈱　G―39
水と空気を媒体にクリーンな環境を創造。農薬付着を大幅に向上、使用量を削減する独自の静電技術を活かした商品を実演・紹介。

㈱イーズ　X―28
「儲かる農業」を実現する秘密兵器で大幅な収入増となる空調機器を提案。

㈱イーズ中部　X―26
アグリｍｏぐっぴーシリーズやハウス環境制御、電照菊・イチゴ栽培ＬＥＤ、ダクト方式可能なCO_2発生機（プロパン）など、オリジナル製品と取扱を紹介。

㈱いけうち　S―32
10～30μｍの濡れない微霧でハウス内を冷房・加湿！栽培ハウスや温室内の温度が30℃以下に低下。湿度は80％以下に抑制。

㈱イシダ　X―14
集出荷業務の困りごとを解決。各種園芸作物の集出荷業務の効率化をはかる独自の技術を駆使したシステムを展示。

伊東電機㈱　D―14
画期的！セル式モジュール型植物工場。植物工場における課題を解決、イメージを覆すシステム。

ＯＡＴアグリオ㈱　F―10

㈱キーストーンテクノロジー　A―24
植物工場収益事業ビジネスモデルの提案。ＲＧＢ独立調光ＬＥＤ光源を用いた「機能性野菜」生産システムを中心に機材と実績を紹介。

㈱クボタ　クボタアグリサービス㈱　S―07
クボタが提案する施設園芸で付加価値アップ。間口20ｍで無柱のハウスや省エネ性に優れたヒートポンプ空調など、新しい施設園芸を一式で提案。

㈱国際農業社　H―33
新聞媒体「農村ニュース」（毎週月曜日刊）で農林業機器や農薬・肥料等の資機材を紹介。今回はＧＰＥＣ特集号を会場で無料配布する。

サンテーラ㈱　A―05
低温時は透明、高温時は半透明に変化する世界初の外気温感応フィルム「調光」を展示。

サンホープ㈱　D―35
高品質でメンテナンスも容易なドリップかん水資材や養液栽培キット等の関連資材を取り揃え、最適なかん水システムを提案。

シーアイ化成㈱シーアイマテックス㈱　D―32
散乱光ＰＯ「カゲナシ５」、10年張りＰＯ「マンテン５」を中心に通常のハウスから自然光利用型の植物工場用フィルムを展示。

スナオ電気㈱　H―36
多様なかん水方法に対応できるスナオの自動かん水装置「オートレイン」を展示。

積水化学工業㈱　B―46
大地の未利用熱エネルギーを活用したシステムで冬の暖房や夏の冷房の光熱費大幅削減を実現し、農業経営の効率化に貢献。

㈱セラク　J―26
10万円以下ではじめられる圃場のモニタリングシステム「みどりクラウド」。利用者の声から生まれた40の新機能を初公開。

ダイオ化成㈱　R―03
農業用各種ネット・シートのパイオニア。新商品ホウレンソウ専用光質コントロール資材「ネオシェード蒼快」をはじめ、温度上昇防止剤入り遮光遮熱ネットシリーズなど、作物栽培に最適な光環境を提供する資材を展示。

東海物産㈱　H―43
施設園芸の生産性向上に役立つユニークで特徴ある製品群を紹介。

東京インキ㈱　K―39
高断熱!!多層被覆資材（布団資材）で大幅省エネを提案。

日新商事㈱　ＡＡ―35
ビニールハウス上面に被覆するだけでハウス内温度が５℃低下。機能性を持った夏用遮熱資材を展示。

日本ロックウール㈱　D―27
養液栽培×国産ロックウール＝無限大∞。①養液栽培に適した培地②藻の発生を抑制する育苗培地の新商品紹介③使用済ロックウールのリサイクルについて説明。

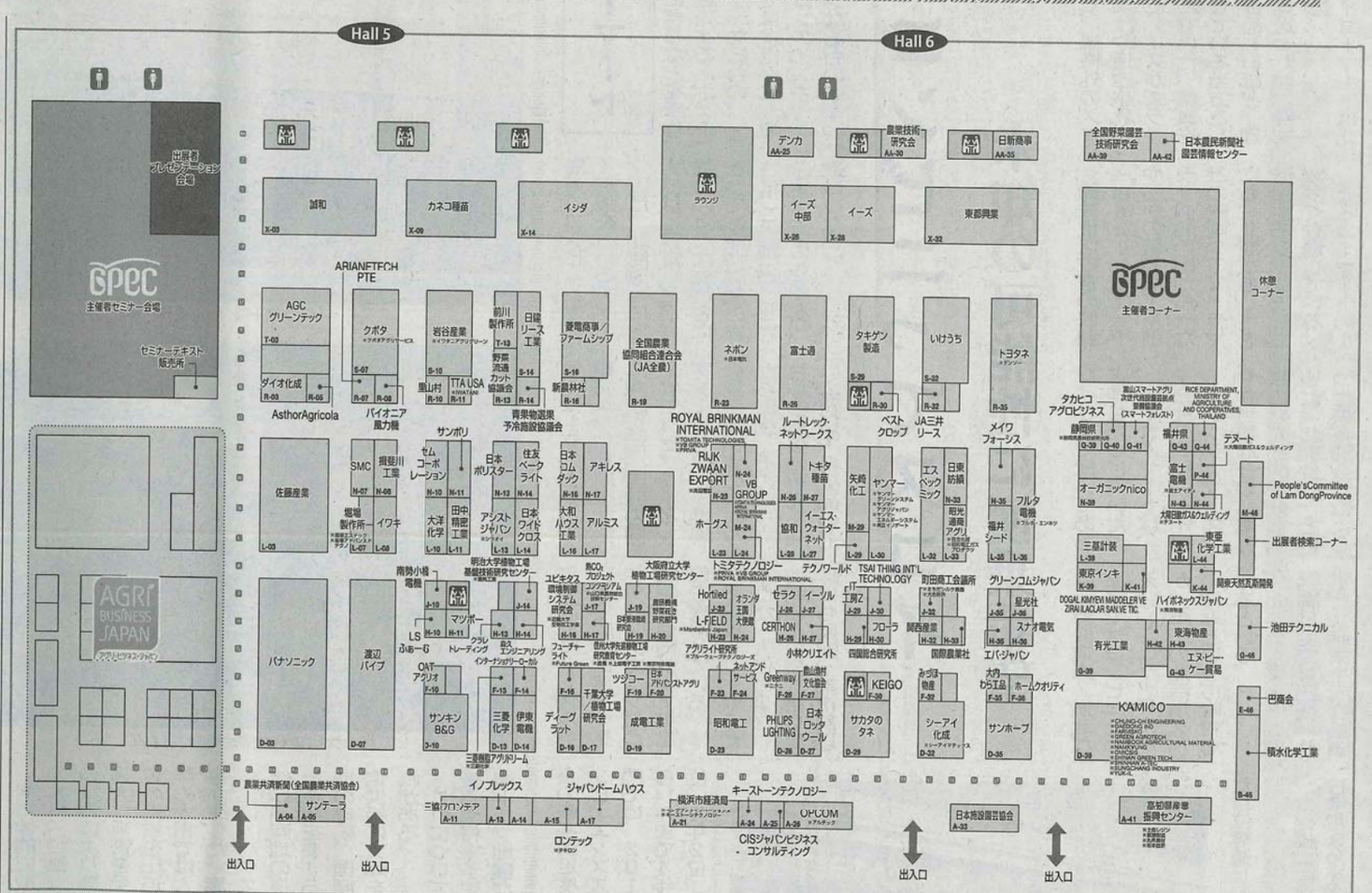
ネポン㈱日本電気㈱　R―23

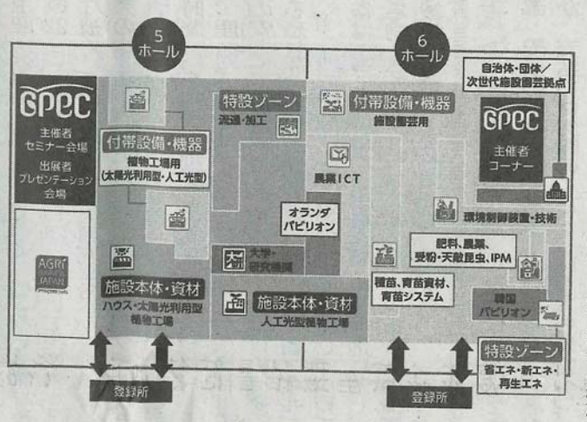
フルタ電機㈱フルタ・エンネツ㈱　L―36
強い施設園芸・植物工場を実現するために。炭酸ガスコントローラ内蔵により、無駄なく供給。

㈱ホーグス　L―23

三菱樹脂アグリドリーム㈱三菱化学㈱　F―13
すぐそこにある「太陽光利用型植物工場」。閉鎖型人工光利用型苗生産装置「苗テラス」・耕栽培システム「ナッパーランド」「トマトリーナ」で計画生産する植物工場を提案。

ヤンマー㈱ヤンマーグリーンシステム㈱ヤンマーアグリジャパン㈱ヤンマーエネルギーシステム㈱共立イリゲート㈱　L―30
施設園芸の開発拠点が８月にオープン！バイオノベーションセンターでの次世代技術開発への取組みや、ヤンマーが持つ新商品（イチゴ一貫体系、ハウス用ＧＨＰなど）を紹介。





出展社プレゼン
各社が新製品など説明

会期中、出展社プレゼンテーションが行われるので、これも是非、見逃さないでほしい。（当日受付制）

▽7月27日㈬　午前11時20分から午後4時。
㈱イーズは「ぐっぴージョーカー」を初公開。
㈱誠和。は日本で唯一のトマト栽培施設・トマトパーク紹介。㈱セラクは〝みどりクラウド〟の導入事例など。東都興業㈱はリスクを軽減するハウス部材など紹介。
㈱アシストジャパンは植物の生育状況の数値化や高機能液肥など。
メイワフォーシス㈱は福祉事業と農業の連携。トヨタネ㈱は、日本の施設園芸をトータルサポート。

▽7月28日㈭は、午前10時30分から午後4時。
日本ロックウール㈱は養液栽培、国産ロックウール。㈱アシストジャパンは、エコなシラオイハウス、太陽光併用型多段式栽培による植物工場の新たな幕開け。㈱誠和。は、㈱サカタのタネは、高機能液肥など。
メイワフォーシス㈱は植物の生育状況の数値化

▽7月29日は午前10時30分から午後4時。
日東紡績㈱は、オランダにおける次世代温室の栽培で講演。
㈱アシストジャパンは福祉事業導入で農業が変わる、日本の農業に新提案。㈱誠和。、㈱堀場製作所は施設園芸・植物工場向けセンシングの提案。東都興業㈱。㈱セラクは〝みどりクラウド〟に新たに追加される40の機能を紹介。㈱ルートレックネットワークスは、センサー情報を用いた、かん水施肥の自動管理。

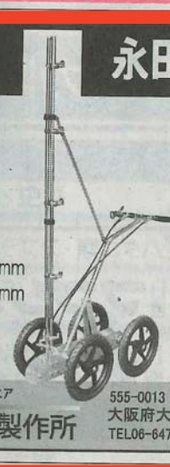
光合成を測って、よりよい生育環境がわかる。㈱セラクは、みどりクラウドの導入事例など。㈱キーストンテクノロジーはＲＧＢ独立調光型ＬＥＤ栽培光源を用いた機能性植物栽培など。

アシストスーツ体験も

主催者コーナーでは、生産者相談コーナー、アシストスーツ体験コーナーのほか、パイプハウス展示、次世代施設園芸拠点コーナー、政府・公的機関情報コーナーが設けられる。
アシストスーツ体験コーナーは、就農者の減少や高齢化をうけ、省力化の急先鋒として普及が期待されているアシストスーツの体験装置コーナー。収穫、運搬などの農作業を体験し、その効果を実感できる。
野菜農家や選果場担当者などの腰の負担軽減などに役立つ。
相談コーナーでは、大規模経営、栽培技術などテーマごとに、生産法人の代表者、企業、農水省担当官、金融関係などの専門家が、来場者の相談に応じる。園芸農業に必要な補助金について、普段はなかなか聞けないような内容について、ゆっくりと相談にのってもらうこともできる。
パイプハウスの展示コーナーは、平成26年7月に、日本施設園芸協会は大雪に対する対策指針を発表した。同コーナーでは、平成26年2月の大雪による施設園芸の被害要因とその対策指針について、モデルハウスを使った実例を展示する。
次世代施設園芸拠点コーナーは、農水省の次世代施設園芸導入加速化支援事業で採択された。各拠点の状況の紹介や生産物も展示される。

冷房・加湿・防除自動化システム
特長
・ハウス内の温湿度管理＆病害予防を１台で実現。
・冷房効果−8℃※1、薬液削減量70%※2。
・セミドライフォグ®※3のため作物や施設を濡らさない。
・栽培作物や施設レイアウトに合わせ、最適なシステムを構築。
※1. ご利用条件や気象条件により変動します ※2. 一般的な動力噴霧機との比較 ※3. 平均粒子径 10～30μｍの微細な霧

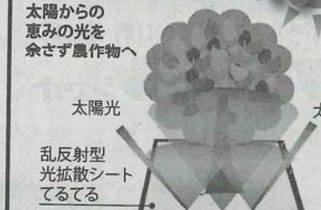
フォグエンジニア 霧のいけうち アグロ事業部 https://www.kirinoikeuchi.co.jp/ TEL：06-6538-4018 FAX：06-6538-4023
いけうち CoolPescon 検索

Nagata（永田ブランドのトレードマーク）
全高　1,745mm
タイヤ幅　410mm
奥行　810mm～990mm
ハンドル高さ　800mm～980mm
重量　16.4kg
吐出量　7.7ℓ/min（2.0MPa）

永田製作所が誇る ハウス、立木野菜専用カート ～新発売～
低重心で安定感のある大型四輪で操作性アップ
扇型 ノズルで角度自在調整により葉裏散布を可能に
噴霧口ストップ機能付（止水）で成長に合わせ無駄なく散布
左右の噴霧管はバルブ操作により片側散布も可能
（永田製作所ホームページへ）
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。
永田製作所 検索
スプレーノズルのパイオニア 株式会社永田製作所
555-0013 大阪府大阪市西淀川区千舟１丁目５−41 TEL06-6473-0835（代）FAX06-6472-6280（代）
（株）北海道永田 （株）東北永田 （株）永田東海 （株）永田名古屋 （株）和歌山永田 （株）永田製作所 四国 （株）永田製作所 中国 （株）九州永田

高機能農業用塗布型POフィルム
カゲナシ5ファイブ
全光線透過率を下げずに散乱光を増やします。
特長
●散乱光が多く入るため、花きのヤケ抑制になります。
●散乱光が多く入るため、花きの色付きが均一になることが期待できます。
●防滴剤をコーティング処理してありますので、防滴効果が長期間持続します。
ヤケ抑制
保温内張
独立気泡構造農業用ポリオレフィンフィルム
スカイコート5エアプラス
エア（独立気泡）をプラスした、新規開発製品です。
特長
●スカイコート5にエア（独立気泡）をプラスし、保温性を格段にアップしました。
●太陽光線をソフトな散乱光線として、ハウスの中に取り込みますので急激な温度変化を抑制することができます。
●優れた防滴性と防霧効果が持続します。
人と地球と未来にやさしいものづくり
シーアイ化成 本社〒104-8321 東京都中央区京橋一丁目18番1号（八重洲宝町ビル）電話（03）3535−4571
シーアイ化成ホームページアドレス URL:http://www.cik.co.jp/

可視光線透過型高温対策シート
ワリフ 明涼 夏

赤外線を効率よく反射し、ハウス内は明るいまま、温度を低下させる軽量シート。
ほっこり保温力で、元気野菜
ぬくぬく 冬

ハウス内べたがけ　トンネル被覆
特殊不織布を使用し、吸湿性・除湿・保温効果を実現。内張りカーテンとして使用しても、水滴のぼた落ちは生じません。
乱反射型光拡散シート
新商品 ワリフ


高い拡散反射が発育・色付促進・害虫忌避に効果あり。
▶JX ANC株式会社で扱っていた資材は、日新商事が承ります。お問い合わせは下記まで。
日新商事株式会社 ☎03-3457-6535 FAX.03-3457-6541 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目12番3号Daiwa芝浦ビル4階